

平成22年度 事務事業評価シート（平成21年度実績分）

事務事業名	クリーンセンター管理費		部課コード	1808	予算事業科目	010403010103	事	単	区分	継続
所管部署	担当部局	環境部	部局長名(2次評価者)	明神 公平		個別事務	010403010103	-		
	担当部署	環境業務課	所属長名(1次評価者)	上野 昇一			-			
	電話番号	088-884-3144	E-mail	kc-180800@city.kochi.lg.jp			-			

1 事業の位置付け

予算科目(平成21年度)	高知市総合計画・実施計画施策体系での位置付け				
会計	01 一般会計	目標	03 C環境と共生する安全で快適な都市	政策基本方針	市民・事業者・行政が一体となって、協働・参加による環境保全活動に取り組み、地球環境に貢献する循環型社会システムの確立をめざします。
款	04 衛生費	政策	02 地球環境に貢献する循環型社会の構築		
項	03 清掃費	施策	04 廃棄物の適正処理		
目	01 塵芥処理費	区分	04 収集処理体制の充実		

2 事業の根拠

法律・政令・省令		法定受託事務
県条例・規則・要綱等		
市条例・規則・要綱等		
その他(計画、覚書等)	一般廃棄物処理実施計画	

3 事業の目的・内容等

対象	誰(何)を対象に	高知市民										
意図	どのような状態にしていくなのか	ごみ収集業務の円滑な推進を図るため、収集車両基地であるクリーンセンターの維持管理及び運営を行う。										
手段	事業実施体制等	直営体制										
		事業開始年度										
活動内容	どのような事業活動を行うのか	<ul style="list-style-type: none"> ●建物・設備・機械機器の維持補修 ●定期的管理(清掃・警備・自家用電気工作物・消防設備等)の実施 ●光熱水費(電気・ガス・水道)の節減 ●処理困難物等処分費・水銀含有廃棄物処分用品購入 ●収集業務、指導、車両用品及びその他の事務費 										
		<table border="1"> <tr> <th>成果指標</th> <th>事業目的の成果を測る指標</th> <th>指標設定の考え方</th> </tr> <tr> <td>A</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>B</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>C</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果指標	事業目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	A			B			C
成果指標	事業目的の成果を測る指標	指標設定の考え方										
A												
B												
C												

4 事業の実績等

		19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(計画)	備考欄	
成果指標	A	目標					
		実績					
	B	目標					
		実績					
C	目標						
	実績						
投入コスト	① 事業費	決算額 (千円)	31,488	32,019	27,778	24,644	
		財源内訳	国費 (千円)				
			県費 (千円)				
			市債 (千円)				
			その他 (千円)				
			一般財源 (千円)	31,488	32,019	27,778	24,644
	翌年度への繰越額 (千円)						
	② 概算人件費等	人件費等 (千円)	3,000	4,927	4,907	4,955	
		正規職員 (千円)	3,000	3,000	3,000	3,000	
		その他 (千円)		1,927	1,907	1,955	
人役数 (人)		0.40	1.40	1.40	1.40		
正規職員 (人)		0.40	0.40	0.40	0.40		
その他 (人)		1.00	1.00	1.00			
総コスト= ① + ② (千円)		34,488	36,946	32,685	29,599		
市民1人当たりコスト (円)		101	108	96		総コスト/年度末人口	
年度末住民基本台帳人数 (人)		341,544	340,695	339,714			

5 成果指標で表せない事業成果・市民満足度・その他課題点等

施設・設備の老朽化による機能低下が著しく、修理費が増大しており、耐震性にも問題があり安全面でも不安がある。早急に建替える必要があるが、厳しい財政状況により庁舎の建替えは平成26年度以降に先延ばしになっている。
 クリーンセンターは、市民の清潔で快適な生活環境づくりのための重要な施設であるとともに、災害時には市民生活の早期復旧のための拠点施設でもある。現状は適時の補修や定期的な管理を最小限に行いながら、老朽化した施設を維持し、機能性・安全性の確保に努めているが限界にきており、実現に向けて早急に検討していかなければならない。

6 1次評価（所属長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 17 日）

評価項目		評価基準		1次	平均 点数	評価内容の説明
事業実施の 必要性	① 〔施策体系等での位置付け〕 事業の実施が市の総合計画・実施計画・市長マニフェスト等の目標達成に結びつか、又は、事業の根拠等に結びつか	A (5) 結びつく	B	3.0	ごみ収集車の車両基地の管理費であり、その役割は大きい。老朽化が進んでいるが、最小の経費で最大の効果を得るように務めている。	
		B (3) 一部結びつく				
		C (1) あまり結びつかない				
		D (0) 結びつかない				
② 〔市民ニーズの傾向〕 事業の実施に対する市民のニーズ（需要量）の傾向はどうか	A (5) 非常に多い、急増している	B				
	B (3) 横ばいである					
	C (1) 少ない、減少している					
	D (0) ほとんどない					
事業内容の 有効性	③ 〔成果の達成状況〕 事業の成果指標の達成状況は順調か	A (5) 十分に達成している	A	4.0	維持経費については、最小経費で最大の効果を得られるよう務めている。	
		B (3) 概ね達成している				
		C (1) あまり順調ではない				
		D (0) 十分な成果を望めない				
④ 〔事業の手法・活動内容〕 事業成果の向上のための手法・活動内容の妥当性	A (5) 妥当である	B				
	B (3) 概ね妥当である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 見直しが必要である					
事業実施の 効率性	⑤ 〔アウトソーシングの可能性〕 事業の実施にかかる民間活力利用の可能性	A (5) 実施済・できない	B	3.0	管理経費であり、直接管理するのが、妥当だと考えており、経費については削減努力を継続して実施している。	
		B (3) 行政主体が望ましい				
		C (1) 検討の余地はある				
		D (0) 十分可能である				
⑥ 〔事業統合・連携・コスト削減〕 類似事業との統合・連携やコスト削減の可能性	A (5) 現状が望ましい・できない	B				
	B (3) 概ね効率的にできている					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 十分可能である					
事業実施の 公平性	⑦ 〔受益者の偏り〕 事業の受益者が特定の個人（団体）等に偏りがなく公平性が保たれているか	A (5) 極めて公平性が高い	A	5.0	ごみ収集車の車両基地の管理費であり、公平性は十分保たれている。	
		B (3) 概ね保たれている				
		C (1) 偏っている				
		D (0) 公平性を欠いている				
⑧ 〔受益者負担の適正化〕 事業実施の財源として、受益者負担割合（一般財源負担割合）は妥当か。補助金等交付事業の場合、対象経費は妥当か。	A (5) 適正な負担割合である	A				
	B (3) 概ね適正な負担割合である					
	C (1) 検討の余地がある					
	D (0) 検討すべきである					
総合 点	15.0	総合 評価	A 事業継続（総合点が16点以上で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
			○ B 経費削減に努め事業継続（総合点が12点以上16点未満で、各項目の平均点数がいずれも2点を超える場合）			
			C 事業縮小・再構築の検討（総合点が4点以上12点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで2点以下がある場合）			
			D 事業廃止・凍結の検討（総合点が4点未満 又は 各項目の平均点数のいずれかで1点以下がある場合）			

7 2次評価（部局長評価）

評価日（平成 22 年 9 月 29 日）

総合評価	評価理由・今後の方向性等
A 事業継続	1次評価のとおり
○ B 経費削減に努め事業継続	
C 事業縮小・再構築の検討	
D 事業廃止・凍結の検討	

8 特記事項